

学習支援事業

～様々な状況から生まれる世帯間格差による「学力格差の是正」と「食事提供」～



鳥取県西部・東部地区の小・中・高校生を対象に、鳥取大学・島根大学の学生をボランティア講師として迎え、各エリアの施設で学習支援をしています。併せて、昼食を無料で提供しています。

取組みの目的・経緯

生活困窮世帯、被保護世帯及びひとり親世帯が多くみられる中で、親の経済格差によって子どもの学力や進路に格差が生じているケースがあります。そこで、子どもたちの学力格差を是正することで、職業選択の幅が広がり、将来は納税者となって自立していただくことを目的に、平成 26 年より本事業を開始しました。

取組みの成果や課題

本事業利用者の中学 3 年生 40 人は、全員志望校に合格しました。

参加者 105 人：高校生 17 人 中学生 55 人 小学生 33 人
うち相対的困窮家庭 25 人 (23.8%、約 4 人に 1 人)

〇活動データ

- ・実施回数：平成 30 年度 延べ 376 回 (日)
昼食 延べ 2,369 食
- ・利用者数：延べ 1,700 人
(ボランティア延べ 1,054 人含む)
- ・取組みに関わる人員：担当 1 名
ボランティア 30 名
- ・取組みに関わる主な経費：
活動費 (教材費、食費など)、食費

活動者コメント

活動を支えてくださるボランティアや大学生の皆さんには大変感謝しています。

大学生の皆さんには単に勉強を教えるというだけでなく、それぞれに何か大きな価値を見出しているように見受けられます。



▲米子市立尚徳中学校の生徒にアドバイスする学生講師
＝なんぶ幸朋苑

利用者の声

(保護者)

・息子は学校で分からないことがあっても学校の先生に聞くことが苦手でしたが、こうほうえんの先生方には自分から聞くことができ、わかるまで丁寧に教えていただきました。

・この春には志望校に合格できました。娘は学習指導がわかり易いと大変喜んでおりました。

(卒業生)

・初めは分からないことがあっても聞くことができませんでしたが、今ではわからないことがあると自分から聞くようになりました。

・これからも大学進学に向けて頑張っていきたいと思っております。

社会福祉法人 こうほうえん

本部所在地／鳥取県米子市両三柳 1400

電話番号／0859-24-3111

FAX 番号／0859-24-3113

法人HP／<https://www.kohoen.jp/>

他に実施している公益的取組み：

- 総合相談事業（様々なお困りごとに関してご相談にのっています）
- 総合支援事業
 - 1 就労支援（就労などお仕事に関する支援）
 - 2 学習支援（毎週土日 10時から 17時の間、食事の無料提供と共に実施しています）
 - 3 生活支援（家計管理など自立のための生活全般にわたる支援）
 - 4 触法者支援（刑余者、保護観察中の皆さんへの必要なあらゆる支援）
 - 5 ひきこもり支援（年齢にかかわらず支援）
 - 6 移住定住者支援（住まいの確保や地域情報の提供など必要な支援）
 - 7 犯罪被害者支援（関係機関協力のもと必要な支援）
 - 8 視覚障がい者支援（歩行訓練を中心に支援）
 - 9 居住支援（鳥取県居住支援協議会と協力し、引越やゴミだしなど住宅にかかわる支援）
 - 10 SDGs 支援（国連が定める貧困や環境など持続可能な 17 の活動目標）
- 外部団体とのネットワークづくり

